

世界が進むチカラになる。



経済調査

グラフで見る東海経済 (2026年7月)

2026年7月7日

調査部 主任研究員

塚田裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しの動きがみられる

【今月のポイント】

- 東海経済は、持ち直しの動きがみられる
- 4月の生産(東海3県、季節調整値)は前月と同水準となったが、水準は高く、持ち直しの動きがみられる
- 輸出は総じてみると足踏み状態。先行きは持ち直しを見込むが、イラン情勢の展開により足踏みとなるリスクがある
- 日銀短観6月調査によると、東海の業況判断DIは、全産業で+19と「良い」超ながら前回調査から2ポイント低下。自動車など製造業の悪化が全体を引き下げた。
- 5月の小売販売額は名目で前年比プラスが続いている。実質でも2カ月連続でプラスとなった

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	増加している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直している
個人消費	持ち直している(↑)
住宅投資	横ばい圏で推移している
公共投資	高めの水準となっている

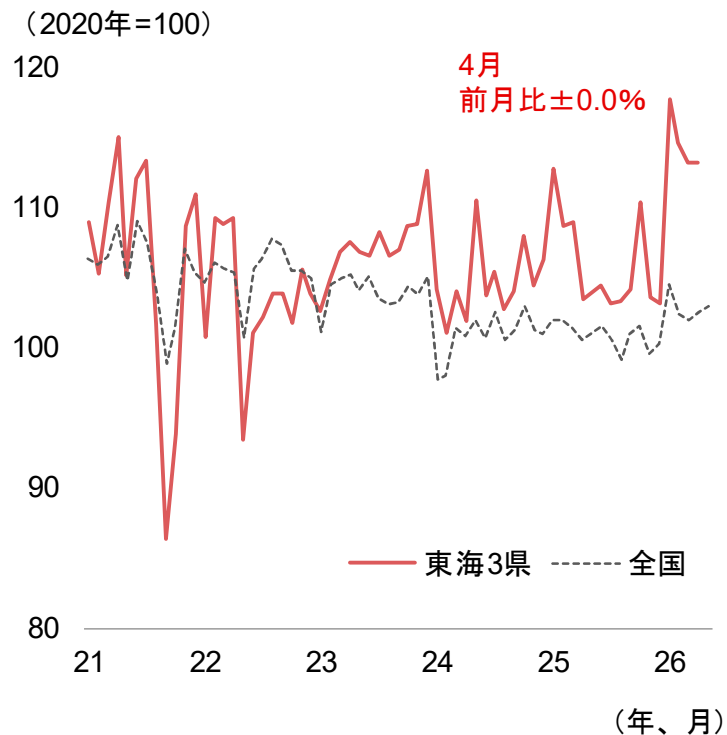
注: ()内は前月からの変化の方向

個人消費は「持ち直しの動きがみられる」から上方修正(↑)

生産

4月の鉱工業生産(東海3県)は前月と同水準の113.2と高水準を維持しており、持ち直しの動きがみられる。AI関連投資の拡大による電子部品・デバイスの増産が足下の高水準につながっている。先行きについては持ち直しを見込むが、イラン情勢の展開により下振れるリスクもある。

鉱工業生産指数

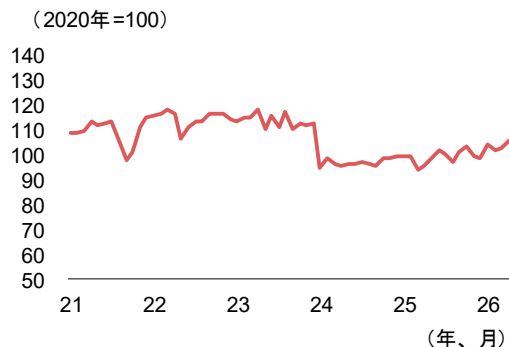


(出所)経済産業省「鉱工業指数」

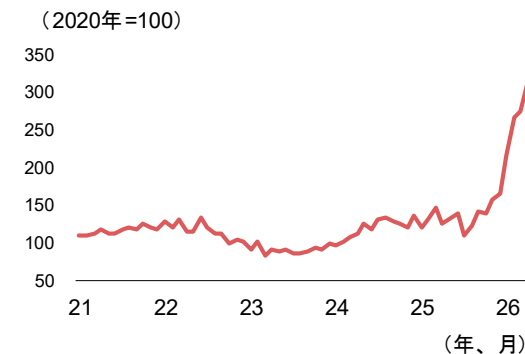
輸送機械



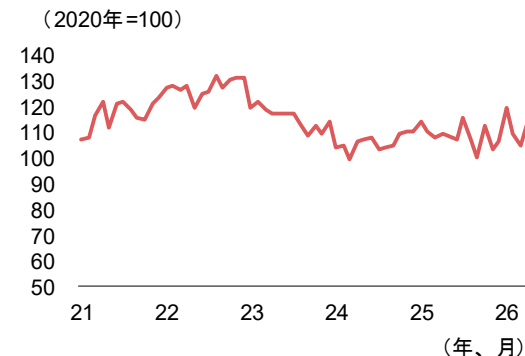
電気機械



電子部品・デバイス



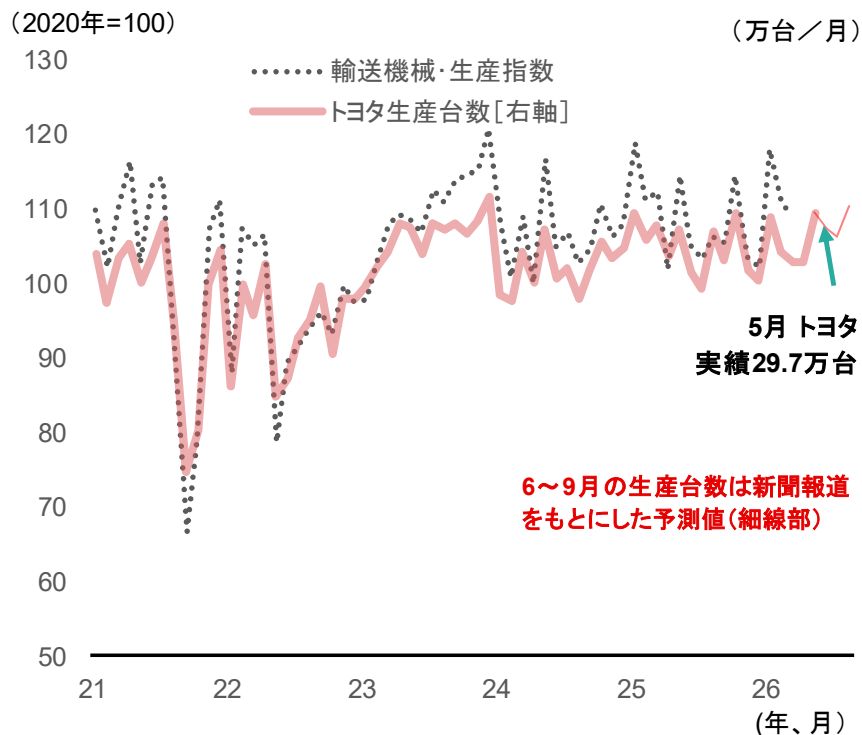
汎用・生産用・業務用機械



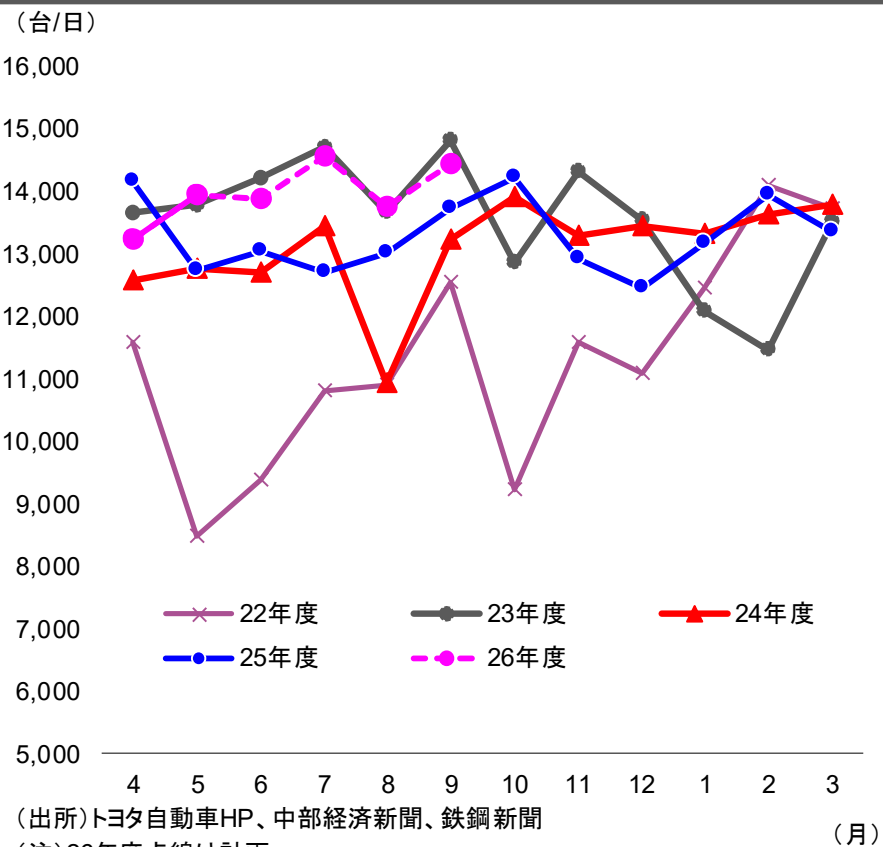
生産（トヨタ国内生産）

5月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は、29.7万台と4ヵ月ぶりに増加。日当たり生産台数(原数値)は3ヵ月ぶりに増加した。先行きは、日当たり生産台数を6月以降1万4千台程度とする計画がたてられているが、イラン情勢の進展によっては下方修正となるリスクがある。

トヨタ月次生産台数(季節調整値)



トヨタ日当たり生産台数(原数値)



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鋳工業指数」

輸出

4月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比-5.1%と2ヵ月連続で低下した。当社試算による5月の輸出数量指数(季節調整値)は、同-2.9%と2ヵ月ぶりに低下した。東海の輸出は、総じてみると足踏み状態にある。先行きについては、生産の持ち直しに応じて輸出も持ち直しが期待されるが、イラン情勢の展開により足踏みとなるリスクがある。

実質輸出指数(季節調整値)

(2020年=100)

140

130

120

110

100

90

80

21 22 23 24 25 26

(出所)日銀名古屋支店「実質輸出入」

(年、月)

4月東海
前月比-5.1%

— 東海

- - - 全国

輸出数量指数(季節調整値)

(2020年=100)

140

130

120

110

100

90

80

21 22 23 24 25 26

(出所)内閣府、MURC

(注)東海の数量指数はMURC試算。輸出金額(指数)を輸出価格指数(全国)で除したものの。

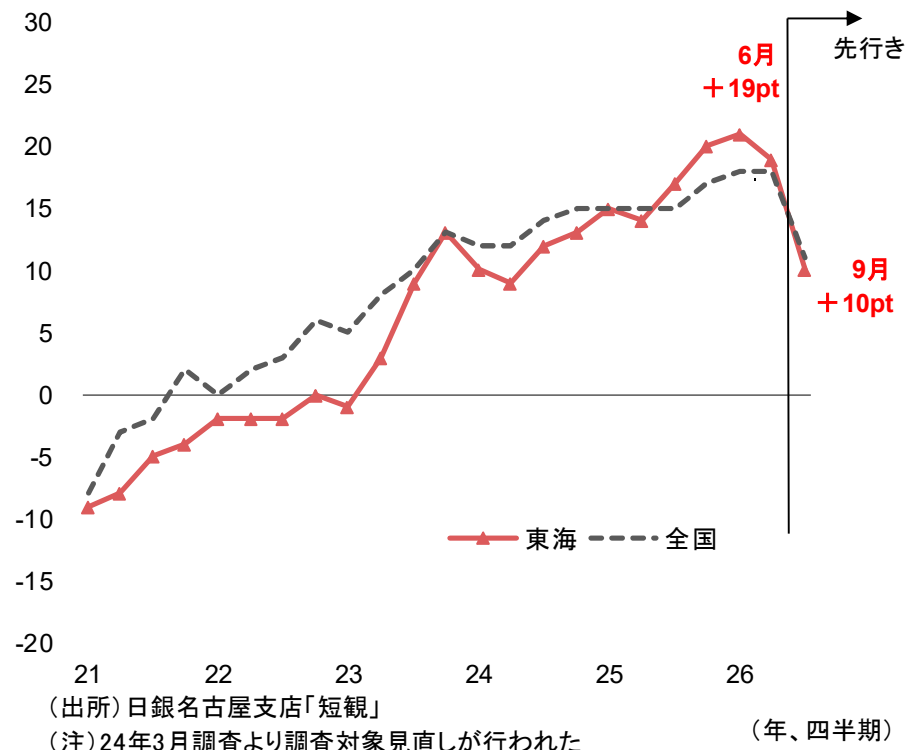
— 東海
- - - 全国

5月東海
前月比-2.9%

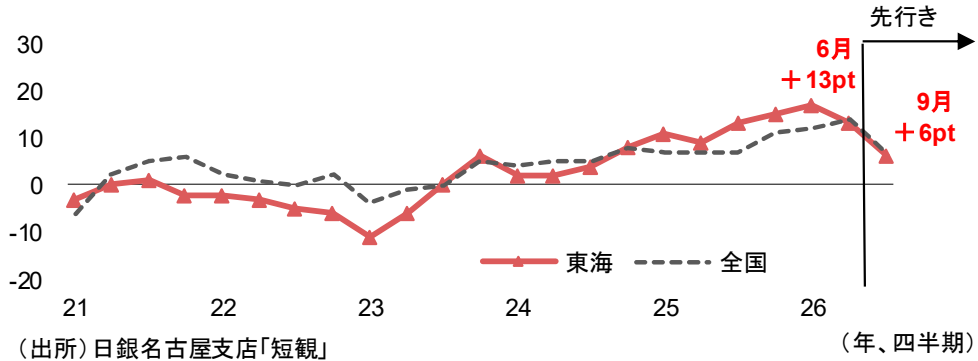
企業景況感(日銀短観)

日銀短観6月調査の業況判断DIは、全産業で+19ptと3月調査(+21pt)から小幅悪化。製造業では、化学、窯業・土石、金属製品、自動車等が悪化し、全体でも悪化。非製造業では建設が改善する一方、電気・ガスが悪化し、全体では横ばいとなった。先行き(9月)については、製造業、非製造業とも悪化が見込まれている。

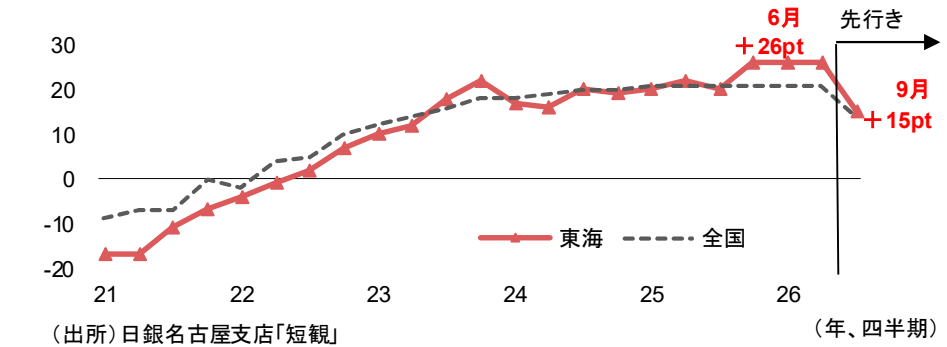
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



同 非製造業



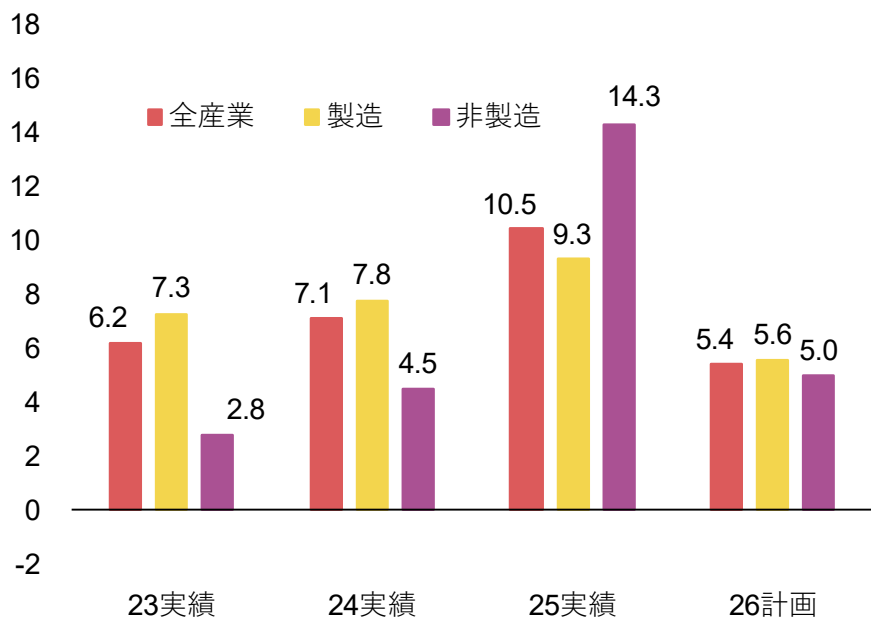
設備投資(日銀短観)

日銀短観6月調査によると、25年度の設備投資は全産業で前年比+10.5%となった。26年度については、全産業で+5.4%と3月調査から上方修正となった。業種別では、食料品、繊維、電気機械、不動産、物品賃貸、情報通信などが大幅増を計画している。

設備投資 実績・計画

設備投資額(前年比%)

(前年比、%)



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

(年度)

	25年度実績	26年度計画		
		今回調査	前回調査との差異	前回調査
全産業	10.5	5.4	(4.6)	0.8
製造業	9.3	5.6	(4.8)	0.8
非製造業	14.3	5.0	(4.1)	0.9

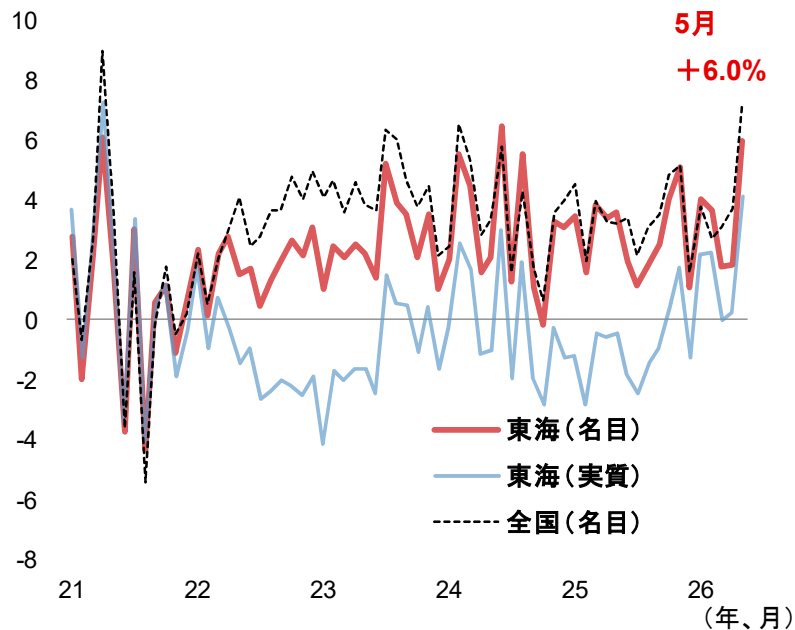
個人消費(小売売上、自動車販売)

5月の小売販売額(名目)は前年比+6.0%と19カ月連続でプラスとなった。実質値を試算すると、前年比+4.1%と2カ月連続でプラスとなった。

5月の新車販売は、前年比+2.1%と2カ月連続で増加。普通車、小型車、軽自動車のいずれもが前年を上回った。

小売販売額(6業態計)

(前年比、%)

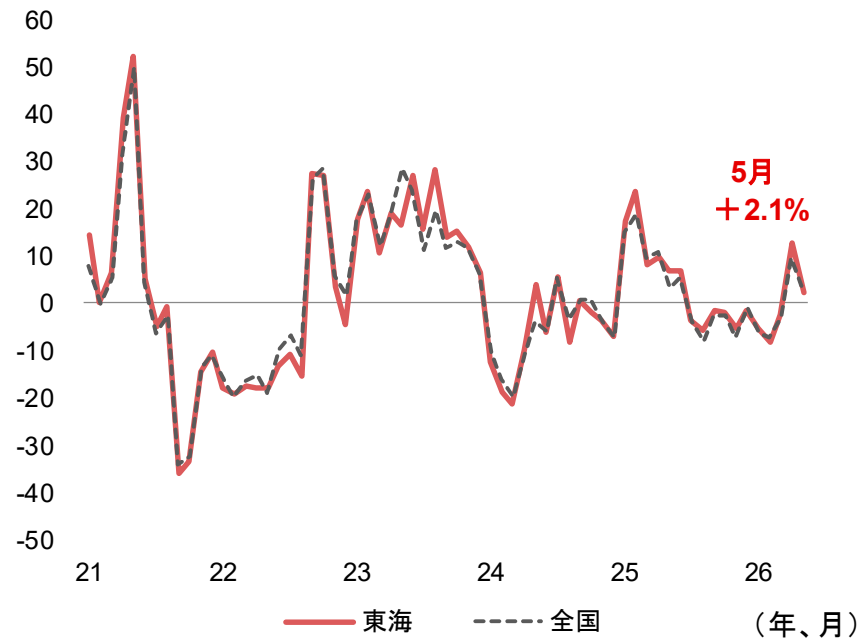


(出所) 経済産業省「商業動態統計」からMURC試算

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計
「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



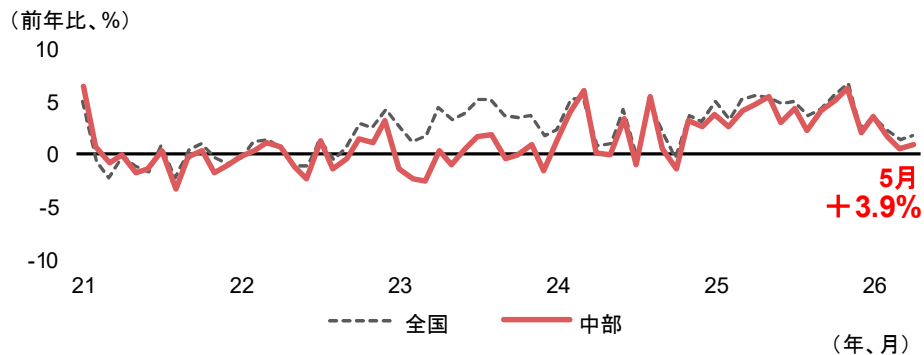
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

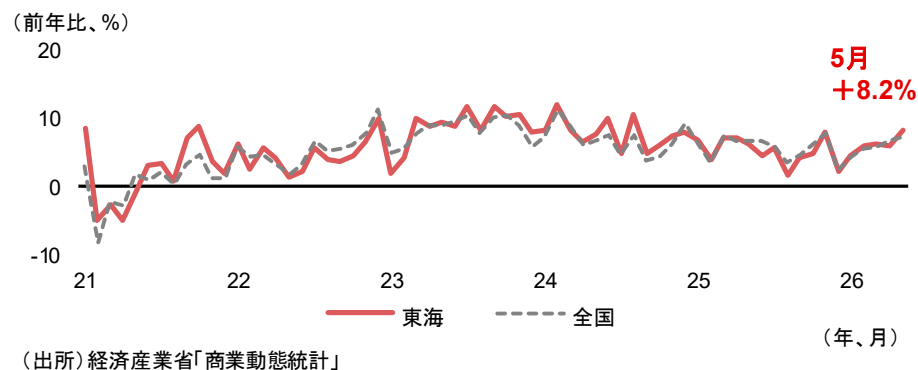
個人消費(業態別)

5月の業態別小売販売(名目)をみると、スーパー(中部5県)は前年比+3.9%と19ヵ月連続で増加した。5月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+9.1%と10ヵ月連続で増加した。夏物衣料が好調であったことに加え、インバウンド需要と高額品需要が売上増加に寄与した。

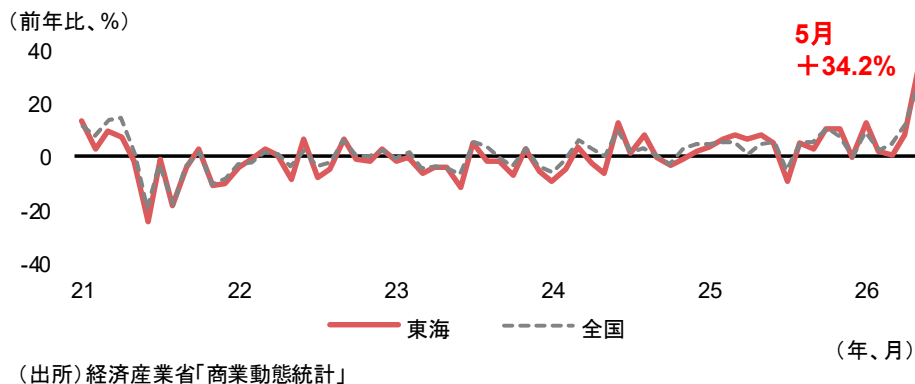
スーパー販売額



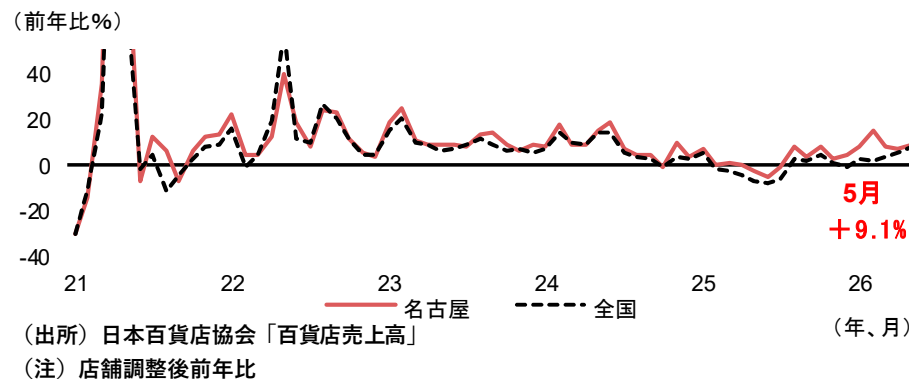
ドラッグストア販売額



家電大型販売店販売額



百貨店売上高

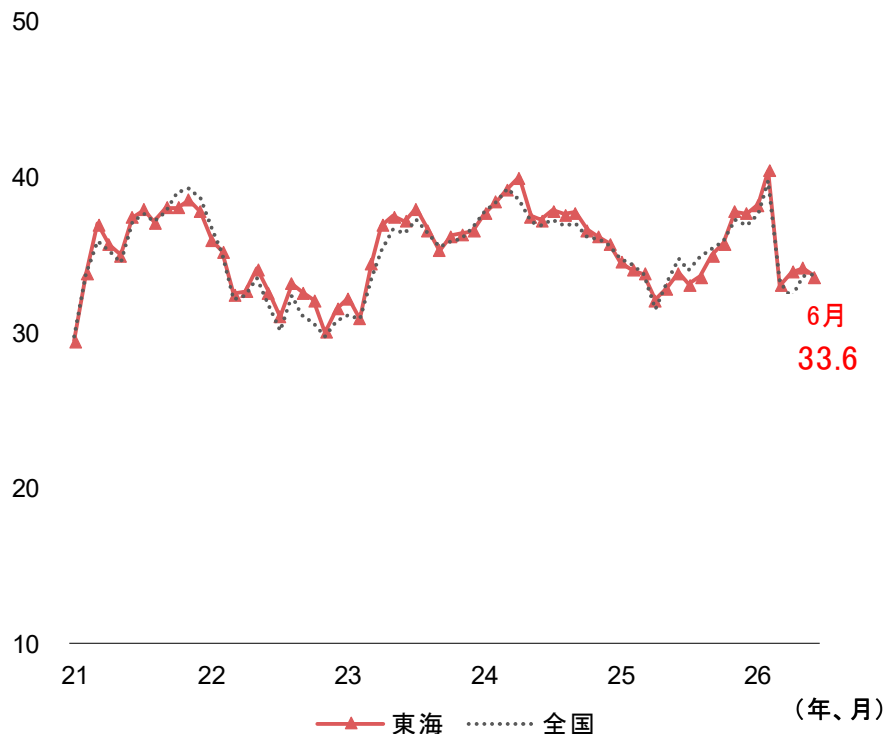


マインド・景況感

6月の消費者態度指数は、33.6と前月から3カ月ぶりに低下した。

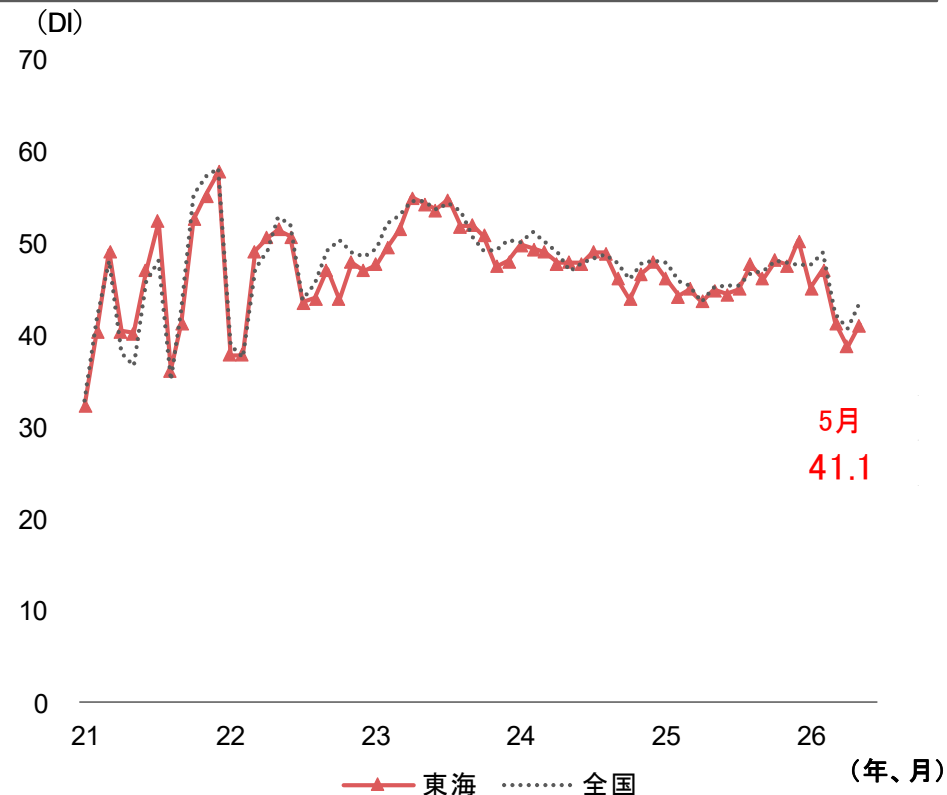
5月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は前月差+2.3ポイントの41.1と3カ月ぶりに上昇したが、横ばいを示す50を5カ月連続で下回った。慎重な見方が多い中で、ゴールデンウィーク需要、エアコン需要などが業況の改善に寄与した。

消費者態度指数



(注) 東海の季節調整値はMURC試算
(出所) 内閣府「消費動向調査」

景気ウォッチャー調査(現状判断)

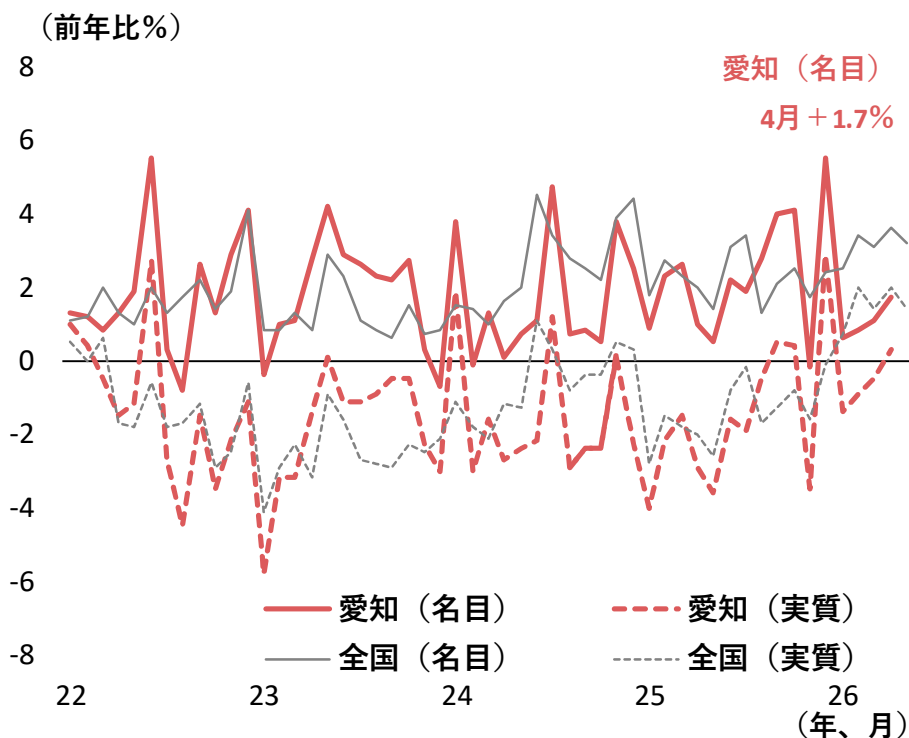


(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

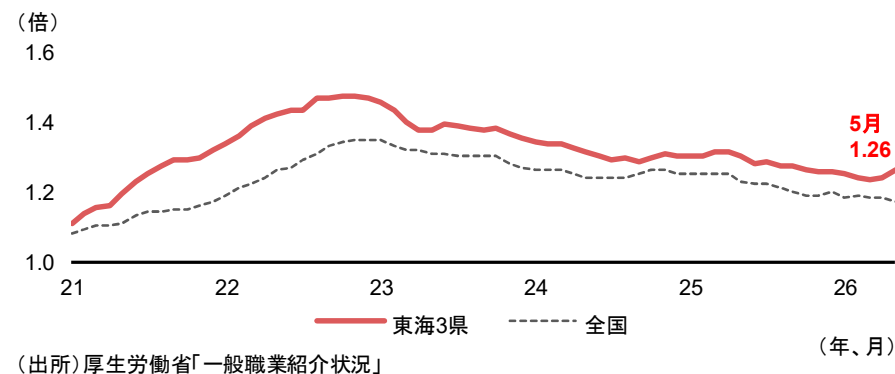
4月の愛知県の名目賃金は前年比+1.7%と5ヵ月連続で増加。実質では同+0.3%と4ヵ月ぶりに増加した。5月の東海3県の有効求人倍率は1.26と前月から小幅増加。このところ横ばいで推移している。26年1-3月期の失業率は2.3%と低下、就業者数は前期比で減少した。

賃金指数

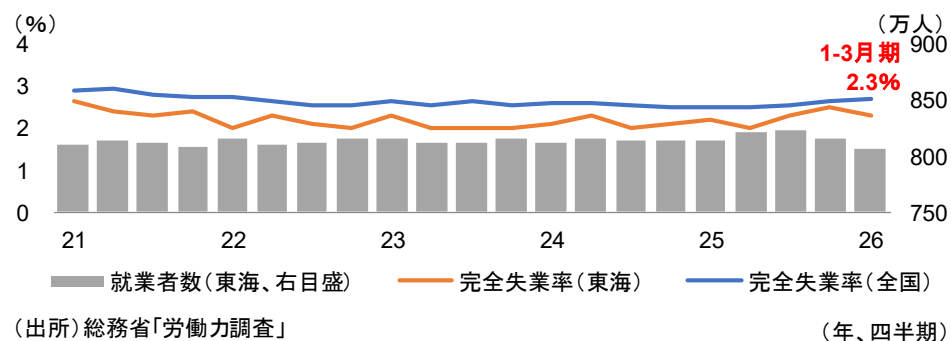


(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」

有効求人倍率(季節調整値)



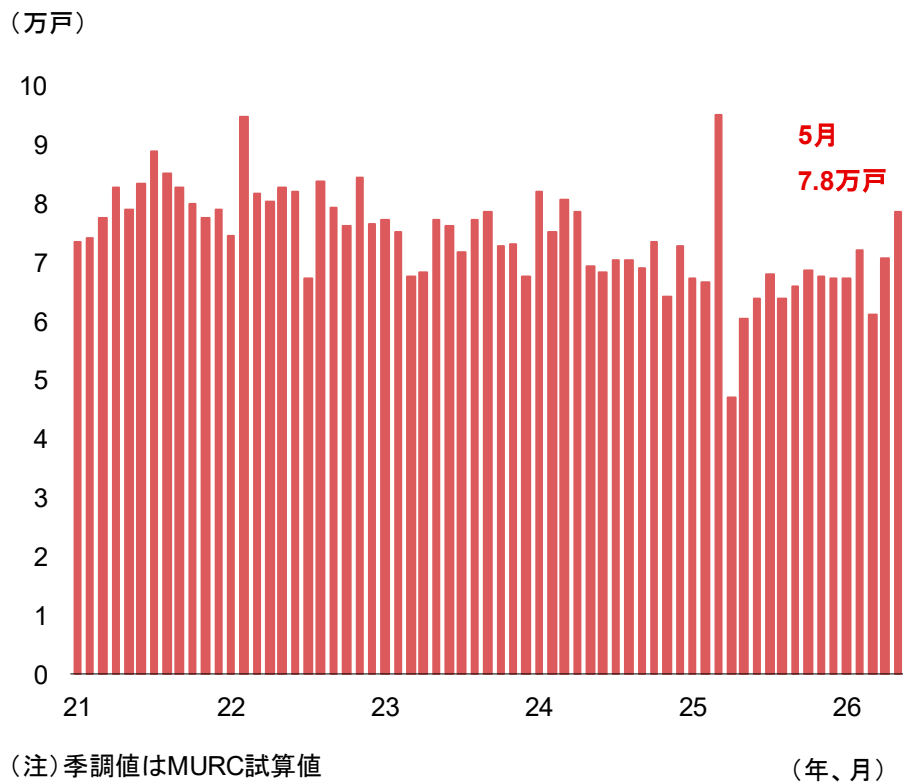
失業率と就業者数(季節調整値)



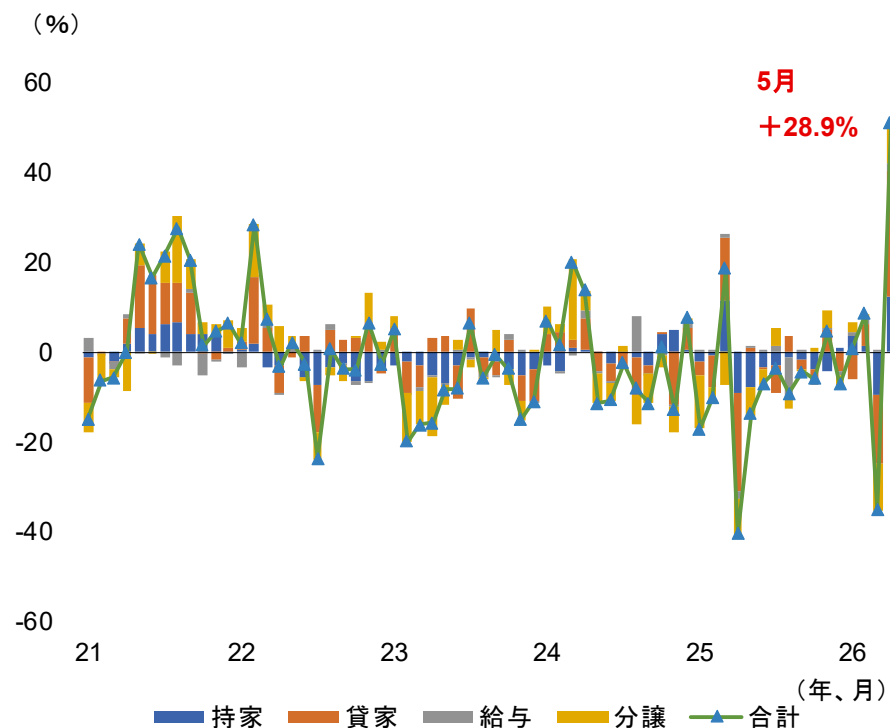
住宅投資

5月の住宅着工は、季節調整済年率換算で7.8万戸と前月から増加。このところおおむね横ばい圏で推移している。前年比では+28.9%と大幅増となったが、前年同月が省エネ基準への適合義務化等による駆け込み需要の反動で着工水準が低かったことが影響している。先行きは、横ばい圏での推移が見込まれる。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



新設住宅着工戸数(前年比)



ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー